

ストリートカルチャーの誕生と歴史を探る！
**オンライン展覧会「路地の記憶 ヒップホップ的なものの社会史」
を開催します**

川崎市市民ミュージアムは2024年7月1日(月)10時から、オンライン展覧会「路地の記憶 ヒップホップ的なものの社会史」を開催します。

本展は、近現代日本における「路地(ストリート)」に焦点を当て、そこから生まれた文化を歴史的にたどります。今夏開催されるオリンピックでブレイキンが追加競技として初採用されるなど、世界的な文化となったヒップホップを中心としたストリートカルチャー及び戦前、戦後の日本社会の文化的発展を、川崎地域を軸にして約40点の資料画像とともに探ります。

【展示構成】

◆第1章 戦前日本の路地の記憶

ヒップホップの構成要素であるブレイキン(ブレイクダンス)、MC(ラップ)、DJ、グラフィティ(アート)を、「踊る」「歌う」「描く」と捉え、それらの要素から前近代の文化に触れます。また明治以降から戦前において、都市から全国に流行した娯楽や、都市文化とその裏面についても取り上げます。



武蔵溝ノ口駅(昭和36年頃)
川崎市市民ミュージアム所蔵

◆第2章 路地の文化 —社会の成熟からヒップホップの定着まで—

戦後の復興から高度経済成長期の若者文化について取り上げ、アメリカでのヒップホップの誕生から、日本への流入までの昭和戦後文化史をたどります。



Technics SL-1200 (個人蔵)

◆第3章 21世紀のストリート —世界はカワサキをめざす—

平成の日本の、ヒップホップを中心としたストリート文化の発展をふまえて、川崎における流入・定着を概観します。加えて、現在の川崎での若者文化の状況を紹介します。

本展覧会は、市民ミュージアム Web サイト内の「the 3rd Area of “C” —3 つめのミュージアム—」でご覧いただけます。(無料・申込不要)

開催期間：2024年7月1日(月)10時～2025年3月31日(月)15時

<https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/>



◆【関連企画】ゆたかな学びの場へようこそ —川崎市市民ミュージアム講座—

当館学芸員が、川崎のストリートカルチャーについて紹介します。

講師：霜村 光寿 開催日：2024年11月2日(土)

会場：川崎市本庁舎 復元棟 205 会議室

【問合せ先】川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム 前田

電話：044-712-2800